

平成29年11月28日

熊谷学園 2・3 期 南京玉すだれクラブ(84回公演)報告

29.11.27 特別養護老人ホーム「ルーエ」デイサービスセンター 熊谷市川原明戸

昨年11月に伺って以来1年振りの公演です。前々から好意的な施設で、12月には入所者の方々を対象に公演の依頼を受けています。

公演時間は午後1時30分からという事で、12時50分に都合のつかない根岸さんを除く4人が集合しました。玄関で担当の高橋さんの出迎えを受け着替え室に通されました。今日の衣装は新調し2回目の着用です。男性は青を基調とし、女性は赤を基調とした派手な模様の付いたもので、帽子も衣装に合わせ新調しました。

今日のお客さんはこの施設を利用しているデイサービスの方々20人と職員7人です。開演の2時になり、高橋さんに案内されてホールに向かい拍手の中入場しました。高橋さんから紹介を受けた後、マイクを戴きこちらで進行了しました。初めのうちはデイサービスの人も少し緊張気味です。初めに舩田さんの「南京玉すだれ」の口上から始まりました。口唄に合わせ、次々変われ「玉すだれ」の形状に目を丸くし、大きく広がる「阿弥陀如来」の円形や「鯛の姿」には拍手と驚きの声が聞かれました。自己紹介、「玉すだれ」のトークが終わり、得意技を当てるコーナーではアチコチから回答の声が聞かれ、活発な交流が図られていきました。「きよしのズンドコ節」ではフィナーレで「ぴかぴかモール」で決めると一段と大きな拍手が沸きました。「サザエさん体操」の2回目には、デイの皆さんが、特に男性の方にも前に出てもらい全員一緒に体操をして大いに盛り上がりました。「玉すだれ」触れ合いコーナーでは、「意外と重いんですね。」という感想を戴きました。円形に開いた「玉すだれ」を手にもち写真に収まっていた。最後に「東京五輪音頭」を演じて60分の公演が終わりました。帰りには皆さんと手を握り再会を約束して退場しました。





